

令和2年度  
教育に関する事務の管理及び  
執行状況の点検評価報告書

令和4年2月  
湯沢町教育委員会

## 教育に関する事務、事業の点検・評価

保小中一貫教育が本格スタートして5年目を迎え、教育委員会、認定こども園、小学校、中学校の連携を深め、家庭、地域と協働して、保小中の連続性のある教育体制の充実を図りましたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、小・中学校では前年3月に続き2回目の学校全体臨時休業が実施され、他にもマグナ教育交流が中止となるなど、各所における行事・イベント等の延期、中止及び開催規模の縮小等の対応が必要となり、3密の回避、施設及び手指の消毒等の感染防止対策の徹底に取り組みました。

令和2年度における決算額は、児童福祉費 427,863 千円、教育費 412,986 千円となり町決算額に占める割合は 10.2%でした。

児童福祉費の内訳としては子育て総合支援費に 16,072 千円、児童クラブ費に 9,398 千円、認定こども園の運営管理費として 260,093 千円などとなっています。

教育費の内訳としては、学校関係では奨学金等就学奨励費 22,492 千円、小学校・中学校にかかる費用として学園管理費 123,925 千円、学園振興費 40,514 千円、学校給食事業費 84,731 千円となっています。社会教育関係は、公民館費 46,766 千円、うち全国童画展事業費 2,983 千円で、文化財保護費 13,602 千円のうち雪国館の指定管理料として湯沢町観光協会へ 9,776 千円、生涯スポーツ推進費 20,609 千円のうち湯沢町総合型地域スポーツクラブ「ユースポ」へ町の体育事業のため 15,633 千円を支出しています。

### 1 教育委員会

#### (1) 教育委員

教育委員会の構成は、教育長、教育長職務代理者、委員 3 名で構成されています。教育長が第一義的な責任者であることと、町長が直接教育長を任命することで任命責任が明確化されています。

教育委員会は定例会議を毎月 1 回開催して教育委員会の各案件の審議をしました。

例年、入学式、文化・スポーツ等の各種行事にも積極的に参加していましたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止による中止や開催規模の縮小等があり、子どもたちとの接触を避けました。

#### (2) 教育委員会事務局

教育委員会事務局では、教育課、子育て支援課、認定こども園で独自施策・課題

の対応を進めました。教育課付けで会計年度任用管理指導主事 1 名を配置しました。

#### ア 教育課

教育課は、学校教育係と生涯学習係の 2 係体制から教育係の 1 係体制となり、小・中学校に関する運営及び施設の維持管理及び奨学金や就学援助等に関する事務や、公民館活動や生涯学習の推進、スポーツ振興、文化財保護等の事務を行いました。

課の構成は、部長が課長と学校給食センター長を兼務し、参事が教育係長と公民館長を兼務して、係員 3 名、会計年度任用 事務員 1 名と学園内に会計年度任用校務員が 3 名の配置でした。

#### イ 子育て支援課

子育て支援課は、子育て支援関連業務について総合的に対応しており、また認定こども園、児童クラブ等の事務を行いました。

課の構成は、課長 1 名、係長 1 名、主任保健師 1 名、主任保育士 1 名、会計年度任用社会教育指導員 1 名、会計年度任用保育士 2 名で業務を行いました。

#### ウ 認定こども園

認定こども園は、園長 1 名、副園長 1 名、指導保育士 1 名、主任保育士 6 名、保育士 8 名、用務員 1 名、会計年度任用管理栄養士 1 名、会計年度任用事務員 1 名、会計年度任用保育士 16 名で、こども園の運営に関する業務を行いました。調理業務は、委託となりました。

## 2 各課・係の点検

### (1) 教育課 学校教育関連

#### ア 湯沢学園

保小中一貫教育が本格スタートして 5 年目となりました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、小・中学校は、新学期の 4 月 25 日から 5 月 10 日まで臨時休校としました。小・中学校入学式は、4 月 9 日に午前・午後に分け来賓数名で実施しました。文化庁主催の「文化芸術による子ども育成総合事業巡回公演事業」で、山形交響楽団コンサートを 3 回に分け小中学生全員で鑑賞しました。修学旅行は感染防止対策を徹底したうえで実施しました。教育フェスティバルは第 1 部が小学生による学習発表会、第 2 部は中学生による合唱コンクールを行いました。全校で不審者対応避難訓練を実施。中学校では、新潟県少年の主張大会「わたしの主張」南魚沼地区大会が湯沢町で開催され、湯沢中学校代表が奨励賞を受賞しました。感染予防対策を徹底し、中学校は 3 月 2 日、小学校は 3 月 24 日に卒業式を行いました。

#### イ コミュニティ・スクール

学校運営協議会では、継続して保護者や地域に協議会の目的や内容の周知に取

り組みました。「あいさつ運動」では、平成 30 年度に募集した「あいさつ標語」を活用しポスターとチラシを作成し、啓発活動に取り組みました。

#### ウ 学力・学習状況

全国学力・学習状況調査等の結果では、学年や領域によって全国平均を超えるものと達しないものがあるほか、全体の児童生徒数が少ないため、年度によるばらつきもあって、学力向上は引き続いての課題です。

学校生活において「自己肯定感」が低いことも統合前からの課題となっていました。改善しつつある状況も見られます。メディアと接する時間を減らして家庭学習の時間を確保し学力の向上につなげていくことと併せて、さらなる改善を図っていきたいと考えています。

#### エ 体力の状況

体力的には、全国平均を上回るなど概ね良好な結果が得られていますが、学力と同様の年度による変動や種目によるばらつきがみられるため、スクールバス登校の影響も注視しながら学園生活を通し改善を図っていきます。

#### オ 特別支援教育

小中学校における特別支援が必要な児童生徒の割合が増加傾向にあります。そのため、引き続き小学校に知的障がい 3 学級、自閉症・情緒障がい 1 学級、中学校にもそれぞれ 1 学級の特別支援学級を設置するほか、通級指導教室（言語通級、発達通級）も設置するとともに、介助員・相談員の確保に努めています。また、総合子育て支援センターにおいて、保小中一貫して支援する体制を継続しました。

#### カ いじめ・不登校状況

いじめは、小学校で 3 件、中学校で 1 件が報告され、個別指導や学年集会などで指導し、収束に向かいました。

不登校（病気を除く 30 日以上欠席）については、小学校で 3 名、中学校で 6 名発生し、登校への働きかけを継続しました。

#### キ マグナ国際交流事業

新型コロナウイルス感染症の影響で、マグナ側と協議した結果、交流事業は受入・派遣とも中止することを決定しました。

### (2) 教育課 生涯学習関連

#### ア 公民館事業

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、公民館は 4 月 25 日から 5 月 31 日まで休館とし、講座も 5 月 31 日まで休止しました。図書の貸出は、5 月 18 日から 5 月 29 日までの平日のみ実施しました。雪国館、池田家も 4 月 21 日から 5 月 31 日まで休館としました。令和 2 年度の成人式は翌年度に延期しました。

## イ 公民館講座

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、5月31日まで休止しました。継続している講座に新たに「スマホの教室」など加え各講座を実施し、多くの方から参加いただきました。

## ウ 図書室の運営

新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響で5月18日から5月29日までは平日のみの運営としました。公民館図書室の利用は、年度末で登録者数は2,180名で、貸出は8,542冊でした。学園図書室の一般開放は、利用者が少ないため令和2年4月より見合せています。

魚沼定住自立圏構想による魚沼市との「図書館等の相互利用に関する協定書」を平成31年4月に取り交わし、すでに協定を締結している南魚沼市に加え、2市1町で相互利用が可能となりました。南魚沼市図書館との相互利用では、湯沢町民の南魚沼市図書館利用は、登録者772名、貸出10,026冊、南魚沼市民の湯沢町公民館図書室利用は、登録者46名、貸出129冊でした。魚沼市との相互利用は、登録者、貸出とも実績なしでした。

## エ 地区館事業

三国、三俣地区のスポーツ大会、土樽・神立・湯沢地区の運動会は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。各地区館活動を推進し、地域のコミュニティ活動の活性化を図っており、難しい状況が続きますが、継続して推進します。

## オ 全国童画展

全国童画展は25回を迎え、今回の応募作品284点から入賞入選作品51点を選出しました。新型コロナウイルス感染症の影響で表彰式は中止しましたが、作品展は、湯沢町公民館、湯沢カルチャーセンター、新潟ふるさと村で開催しました。

## カ 文化財保護

新潟県指定文化財「三国街道脇本陣跡池田家」が町へ寄贈され3年目を迎え、250名が来館しました。

雪国館は、指定管理者の湯沢町観光協会が運営しており、様々な企画展、体験事業等を実施して利用者の増加に努めました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響で来館者が大幅に減少しました。

## キ スポーツ振興

スポーツ振興では、総合型地域スポーツクラブ「ユースポ！」に町のスポーツ関係を委託し実施しており、町民スポーツ大会のほかにも各種スポーツ教室を30回実施し約768名が参加しました。

### (3) 子育て支援課関連

#### ア 放課後児童クラブ

放課後児童クラブは、指定管理者である社会福祉法人湯沢町社会福祉協議会による運営で、預かり時間の拡充や長期休業のみの利用対応などのほか、サービスの充実を図っています。

今年度当初の利用者は、通年利用者が前年度から6名減の41人、長期休業のみの利用が5名増の21名となり、合計62名となりました。昨年度に引き続き利用者が定員数(40名)を超過しており、次年度以降も利用者が定員数を超過することが見込まれることから、引き続き放課後児童支援員等の人員の確保を行うとともに、施設面積の確保のため新規施設を建築し対応することとしました。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、町からの利用自粛要請を受けたことで休所する児童が増え、利用料が当初見込んでいた金額より減少したため、湯沢児童クラブ指定管理料を変更し対応しました。

#### イ 総合子育て支援センター

総合子育て支援センター(愛称: **JumPla.net** (ジャンプラネット))は、専任の保健師と保育士が常駐していることで、相談業務等に迅速に対応できるほか、湯沢学園内にあることで、保健師や保育士、教職員との情報共有を図ることができ、支援が必要な園児・児童・生徒とその家庭に的確な支援を行いました。

年度初めは、新型コロナウイルス感染症の影響により、育児講座、親カフェ、ふれあい広場などの事業を休止しましたが、感染状況を見ながらやり方等も検討しつつ徐々に事業を再開しました。一時預かり事業では、年度前半は新型コロナウイルス感染症の影響で利用者は少なかったが、冬期は前年同様多くなり、会計年度任用職員を配置し利用ニーズに対応しました。

また、平成29年度から療育発達支援事業として、年長児対象の小学校生活を想定した体験教室の「のびのび教室」を実施し、学校生活に求められる適切な態度を身に付け、緩やかに順応できるよう行いました。

#### ウ 青少年健全育成、学園支援

青少年健全育成事業は、事務局を学園内の地域交流センターに置き、社会教育指導員を配置しています。青少年育成指導員を中心に「あいさつ運動」や各種行事での巡回や啓発活動、社会環境浄化活動などを行いました。

学園支援では、平成30年度に立ち上げた湯沢学園支援コーディネーター連絡会を基として、学園支援コーディネーターが主体となり、通学路の見守りや花壇の整備、図書室の整理や環境整備、校舎清掃等の環境美化などの年間活動計画を作成し、支援活動を実施しました。

#### (4) 認定こども園関連

##### ア 湯沢認定こども園

開園5年目を迎え、保育士、園児とも環境に慣れてきました。新型コロナウイルス感染症による、緊急事態宣言が発令されたこともあり、感染拡大防止のため、中止となった行事がたくさんありました。七夕祖父母会、3歳以上児クラスの運動会も中止としました。感染症対策を講じながら、年長運動あそび参観、3歳以上児クラスの発表会、2歳児親子ふれあい遊び、1歳児親子ふれあい遊びを行いました。年長運動遊び参観、発表会などの行事では、観客の人数制限や、学年ごとの発表にし、検温、マスク着用、手指消毒、ソーシャルディスタンスを徹底し、短い時間ではありましたが保護者等が来場し、園児の元気に動き回る姿をご覧いただきました。夏は川遊びやプール遊びを行いました。3歳以上児クラスは、秋の遠足に出かけてきました。冬は雪遊びを十分楽しみ、スキー場でそり遊びも楽しんで来ました。開園時から始めた、預かり時間の拡充（7時30分から19時まで）、休日保育（年末年始を除く全ての休日）などのサービスも保育士のシフト対応等の協力で実施できており、引き続きサービスの充実に努めます。

3月は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じながら、卒園式は卒園児とその保護者のみとし、年中児と来賓は参加なしで実施しました。

入園児数は未満児の入園率が増加しており、今後もこの傾向は続く見込みで、1歳児は待機児童が初めて発生しました。子育て支援センター・児童クラブ新施設建設により、こども園の保育面積を増やし、定員の増を図ることとしました。

令和2年度入園児数（令和3年1月1日現在）

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	計
人数	13	24	30	44	50	40	201